

## 決算ハイライト

	2016年 (第2四半期)	2016年 (通期予想)
売上高	1,740億円 (前年同期比 2.7%減)	3,440億円
営業利益	153億円 (前年同期比 31.8%減)	320億円
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	107億円 (前年同期比 13.0%増)	180億円
配当金	12.50円	12.50円 (年間 25.00円)

## セグメント別売上高

1,322 億円

431 億円

医薬事業 75.4%

バイオケミカル事業 24.6%

## 当第2四半期のポイント

前年同期比で減収減益となりましたが、上期予想に対して医薬事業は増収増益、バイオケミカル事業は概ね計画どおりとなりました。

## 【医薬事業】

- ・新製品群ジールスタ®、ノウリアスト®、ドボベツト®、オングリザ®や主力製品であるネスプ®やレグパラ®の売上が順調に進捗し、国内医薬品売上は前年同期比で15億円の増収となりました。
- ・技術収入の減少や為替影響等により、海外の売上は前年同期比で43億円の減収となりました。
- ・後期開発品が順調に進捗し、研究開発費は前年同期比で31億円の増加となりました。

## 【バイオケミカル事業】

- ・為替の影響などにより売上が減少し、前年同期比で5億円の減益となりました。

スマートフォンをお使いの方は  
右記のQRコードから詳しい情報がご覧いただけます。



## 会社情報 (2016年6月30日現在)

## 会社概要

会社名 協和発酵キリン株式会社  
所在地 〒100-8185 東京都千代田区大手町一丁目6番1号(大手町ビル)  
※2016年7月19日以降、本社機能を下記へ移転  
〒100-0004 東京都千代田区大手町一丁目9番2号  
(大手町フィナンシャルシティ グランキューブ 17F)

設立 1949年7月1日  
資本金 26,745百万円  
従業員数 7,504人(連結ベース)  
事業内容 医療用医薬品の製造・販売を行う事業持株会社。  
医薬事業を核として、バイオケミカル事業などを協和発酵キリングループとして展開。

## 役員

代表取締役社長	花井陳雄*	取締役(社外)	リポウィッツよし子
代表取締役副社長執行役員	河合弘行	常勤監査役(社外)	永井浩明
取締役 常務執行役員	立花和義	常勤監査役	山崎暢久
取締役 常務執行役員	三箇山俊文	常勤監査役(社外)	清水明
取締役 常務執行役員	佐藤洋一	監査役	石原基康
取締役	伊藤彰浩	監査役(社外)	瓜生健太郎
取締役(社外)	西川晃一郎		*執行役員兼務

## 株式の状況

発行可能株式総数	987,900,000株	株主数	33,266名
発行済株式の総数	576,483,555株		

## 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
キリンホールディングス株式会社	288,819	50.10
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	31,217	5.42
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	19,012	3.30

## 株主メモ

事業年度 1月1日から12月31日まで  
定時株主総会 毎年3月  
基準日 定時株主総会・期末配当 毎年12月31日  
中間配当 毎年6月30日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社  
〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
フリーダイヤル 0120-782-031  
(受付時間) 土日休日を除く9:00~17:00

公告方法 電子公告の方法により行います。  
ただし、やむをえない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。  
公告掲載の当社ウェブサイト  
<http://ir.kyowa-kirin.com/ja/>

証券コード 4151

## 当社ウェブサイトはこちらから

スマートフォンをお使いの方は  
右記のQRコードから当社ウェブサイトをご覧いただけます。



KYOWA HAKKO KIRIN

REPORT  
2016

協和発酵キリン株式会社

2016-2020年  
中期経営計画新たな  
ステージへの  
飛躍表紙：  
Kyowa Kirin Pharmaceutical Research, Inc.所属メンバー

代表取締役社長

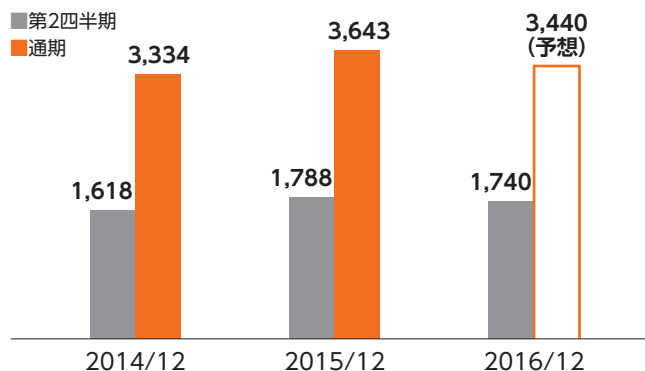
花井 陳雄

## ■ トップメッセージ

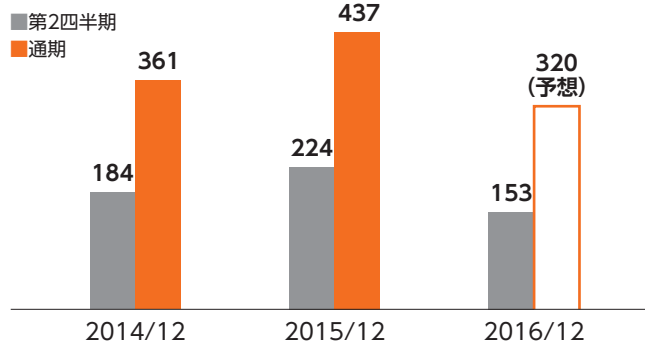
2016年より新たな5カ年の中期経営計画がスタートしました。我々はこの5カ年を「グローバル・スペシャリティファーマ（GSP）への飛躍」のための期間と位置づけ、グローバル戦略3品（成人T細胞白血病リンパ腫治療剤KW-0761、X染色体遺伝性低リン血症（XLH）治療剤KRN23およびパーキンソン病治療剤KW-6002）の海外開発を積極的に進めています。更にGSPの基盤となる国内医薬事業では、新製品の市場への浸透や、地域医療構想に対応したエリア戦略を進めています。また医薬品研究においては、新しい技術の確立にも力強く取り組んでいます。

さて、2015年6月に上場企業の企業統治の指針となる「コーポレートガバナンス・コード」の適用が開始されましたが、当社でもこれを受けて、持続的成長と中長期的な企業価値向上を目的とし、本年1月にコーポレートガバナンス・ポリシーを制定しました。中長期的な視点で安心して投資できる企業であるご期待いただけるよう、公平性・透明性の高い企業としてより一層コーポレートガバナンスを充実させるよう取り組んで参ります。株主の皆様には、今後ご支援ご理解を賜りますよう、お願い申し上げます。

## ■ 売上高（億円）



## ■ 営業利益（億円）



## ■ トピックス

### ■ 東京都スポーツ推進モデル企業に選定！

卓球を通じた障害者との交流や東日本大震災復興支援、また社員に向けた健康増進活動などが評価され、東京都スポーツ推進認定制度に基づき「東京都スポーツ推進モデル企業」に選定されました。



### ■ 「協和発酵バイオのアルギニンEX」を新発売！

1月に新発売した『協和発酵バイオのアルギニンEX』は、うなぎなどの滋養食に含まれるアミノ酸のアルギニンを高水準の1,500mgに加えて、栄養素をエネルギーに変換するビタミンB群を一日分配合した、活力をサポートする商品です。

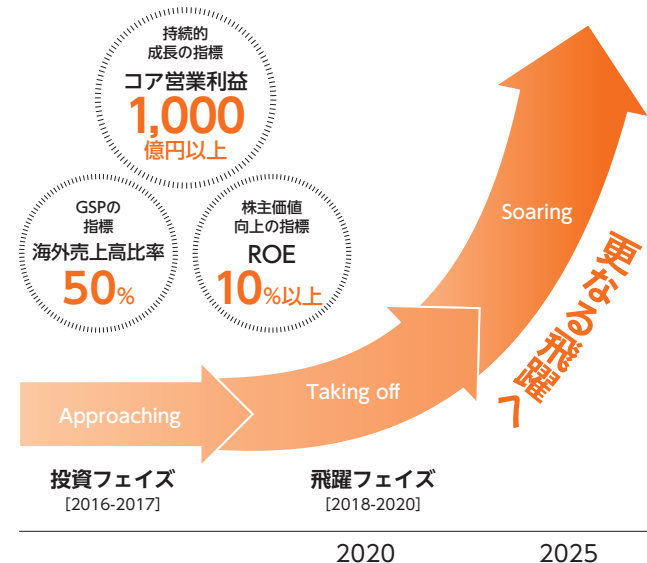


2016～2020年中期経営計画のプロセス

# Leaping Forward

グローバル・スペシャリティファーマへの飛躍の実現に向けて

日本初の世界トップクラスの  
研究開発型ライフサイエンス企業へ



## ■ グローバル競争力の向上を目指した取り組み

協和発酵キリングroupでは、2016年より始まった5カ年の中期経営計画において、グローバル・スペシャリティファーマへの飛躍をテーマに、グローバル競争力の向上を目指しています。この2016年上期においては、海外主要子会社の社名変更による統一ブランド「KYOWA KIRIN」のグローバルマーケットへの浸透、中国における新固形剤棟の竣工と商業生産の開始、海外子会社における新製品の導入と販売の開始、そして早期欧米上市の実現を目指したグローバル戦略3品の海外開発などを着実に進めています。

医薬品開発パイプライン情報はこちらよりご覧下さい。

[http://www.kyowa-kirin.co.jp/research\\_development\\_pipeline/index.html](http://www.kyowa-kirin.co.jp/research_development_pipeline/index.html)

